

城北中学校・高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 13日 (木)

2019年6月13日、雨上りの朝、城北中学・高等学校の学校訪問会が行われました。

川越街道から一本入った閑静な住宅地にある学校です。23区内にもかかわらず、広いグラウンドを有しています。隣接地に東京都の公園もあり、そこも部活の練習で利用できるということです。校門近くにあるヒマラヤ杉は開校時に寄付されたものだそうです。



広報担当の先生より、男子校の特徴を活かして、「人間形成」と「大学進学」の両立を図っているとお話をいただきました。先生と生徒の距離の近さ(面倒見と声かけ)が特色で、生徒の成績の変化などにきめ細かく対応しているということです。

従来の進学指導はもちろんのこと、新しい取り組みとして、「ICT教育」と「グローバル人材育成」についてもお話をいただきました。ICT専用の教室があり、プレゼンテーションは中1の授業から取り入れられているということです。また、全ての教室に大型モニターが設置されており、どの教室からもインターネットにつなげるようになっています。タブレットを使用した授業も実施されています。

温水プールもあり、水泳部(水球)が一年を通して活動できるとのことです。運動部の中では、弓道部・水泳部・少林寺拳法部が全国レベルの強さとのこと。体育館も冷暖房完備となっています。

図書館の他に、高3用・高2用の自習室も完備され、大学入試に向けた学習環境も充実しています。自習室は20時まで利用できるということです。

食堂(450席)も中1から利用でき、必要であれば早朝や放課後にも食事をとることができます。



進学校として高い実績を誇る学校ですが、時代の変化に合わせて、新しい取り組みもされていることがわかりました。生徒がトイレを含めて校内の掃除をする、学校周辺の清掃活動を行う、などの伝統も大切にしていることがわかります。参加された保護者の皆様からも、学校生活・部活動・進学指導などについて様々なご質問があり、ご関心の高さがうかがえました。